

特別会計 歳入歳出決算額

特別会計は、特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計から分離して別に収支経理を行うもので、国の法律や市の条例によって設けることができる会計制度です。

会計名	歳入決算額	うち一般会計からの繰入金	歳出決算額	翌年度繰越財源	実質収支
国民健康保険事業	82億3,205万円	7億4,000万円	81億9,505万円	—	3,700万円
交通災害共済事業	5,734万円	—	2,064万円	—	3,670万円
介護保険事業	74億186万円	10億2,410万円	68億2,963万円	—	5億7,223万円
後期高齢者医療事業	12億3,147万円	2億6,381万円	11億4,773万円	—	8,374万円

※実質収支とは、歳入歳出決算の差引額から繰越事業に充てる財源を控除した実質的な翌年度への繰越額です。

健全化判断比率・資金不足比率

市の財政状況は、実質赤字比率などの4つの統一した指標で判断されます。これらの指標は財政の早期健全化や財政再生の必要性を判断するものであるとともに、他団体と比較することで財政状況を客観的に表すために用いられます。なお、行田市では全ての指標において早期健全化基準を下回っています。

○健全化判断比率

	R5 決算比率	早期健全化基準	備考
		財政再生基準	
実質赤字比率	—	12.59%	R3：— R4：—
		20.00%	
連結実質赤字比率	—	17.59%	R3：— R4：—
		30.00%	
実質公債費比率	2.5%	25.0%	R3：3.2% R4：2.7%
		35.0%	
将来負担比率	—	350.0%	R3：— R4：—
		—	

○資金不足比率

公営企業会計	R5 決算比率	経営健全化基準	備考
水道事業会計	—	20.00%	R3：— R4：—
公共下水道事業会計	—		

※資金不足額や剰余額は、一般会計などの実質収支額と合算して、連結実質赤字比率を算定します。

詳細の説明や用語の解説は市ホームページに掲載しています。

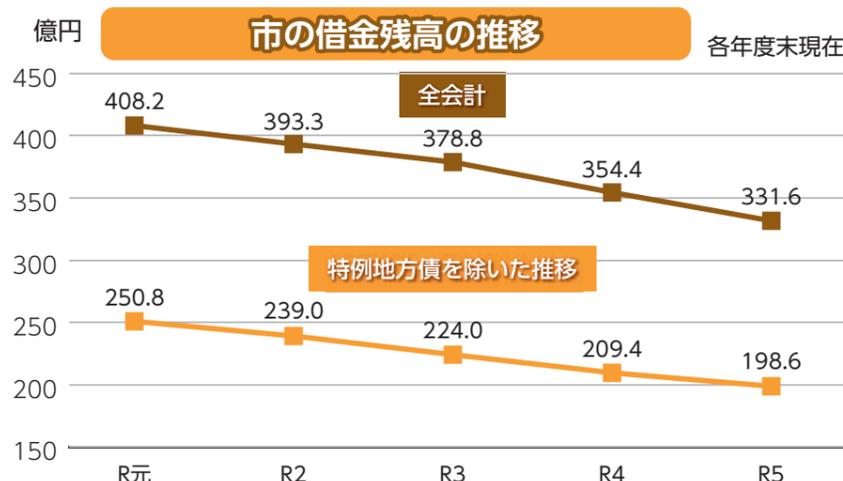


～今の残高はどのくらい?～ 行田市の借金の状況を公表します

市債は、道路や河川、公共施設の整備などを行うときに国や銀行などから長期にわたって借り入れるお金のことで、家計に例えると「借金」に当たります。また、市債には「特例地方債」という後年度の返済の際に全額または一定割合が交付税に上乗せされ、国から交付されるものもあります。

なお、令和5年度については、市債の返済額が新規発行額を上回ったため、市債残高は減少しています。

▶問い合わせ 財政課財政担当 (内線 325・326)



※全会計：一般会計、水道事業会計、公共下水道事業会計

行田市の決算概要をお知らせします

令和5年度 決算報告

令和5年度の決算がまとまりました。

決算は、自治体の予算執行や財政運営を明らかにするものです。市民の皆さんからいただいた大切な税金や国・県支出金などの収入がどのくらいあって、どのように使われたのかをお知らせします。

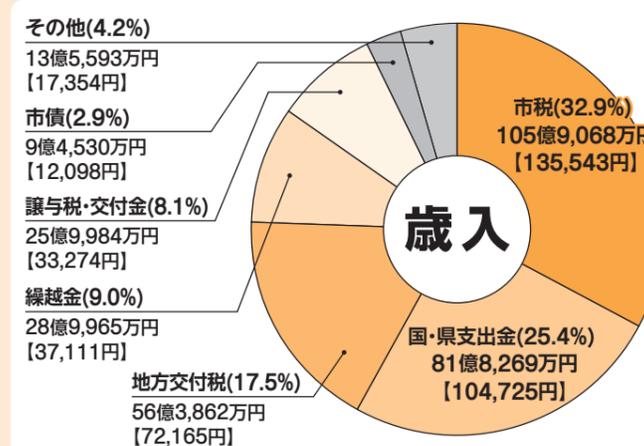
一般会計

令和5年度における歳入歳出差引額は約24億2,591万円の黒字となりました。

歳入では、普通交付税の増加により地方交付税が増加したものの、新型コロナウイルスワクチン接種関係国庫支出金の減少などによる国庫支出金の減少や、前年度からの繰越金の減少などにより、総額では前年度と比較して1億4,653万円減の322億1,271万円となりました。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の減少などにより衛生費の減少があったものの、民生費において住民税非課税世帯や均等割のみ課税世帯を対象とした価格高騰重点支援給付金給付事業の実施などによる増加、土木費において水城公園東側園地再整備事業費が増加したことなどにより、総額では前年度と比較して3億2,721万円増の297億8,680万円となりました。

歳入総額 322億1,271万円 [412,270円] 前年度比1億4,653万円(0.5%)の減



市税

固定資産税の増収などにより2,335万円の増加となりました。

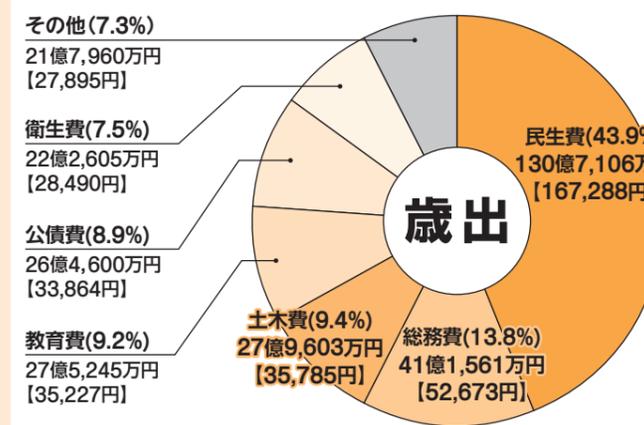
国・県支出金

新型コロナウイルスワクチン接種関係国庫支出金の減少などにより1億8,534万円の減少となりました。

地方交付税

普通交付税の増加により1億7,730万円の増加となりました。

歳出総額 297億8,680万円 [381,222円] 前年度比3億2,721万円(1.1%)の増



民生費

住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金給付事業費の増加などにより8億4,984万円の増加となりました。

総務費

ごみ処理施設整備基金への積立金の減少などにより2億855万円の減少となりました。

土木費

水城公園東側園地再整備事業費の増加などにより6,394万円の増加となりました。

※グラフの【 】の数値は、市民1人当たりの額です。

歳入から歳出を引いた24億2,591万円は令和6年度に繰り越しました。

令和5年度決算の詳細や主な事業につきましては市ホームページに掲載しています。

